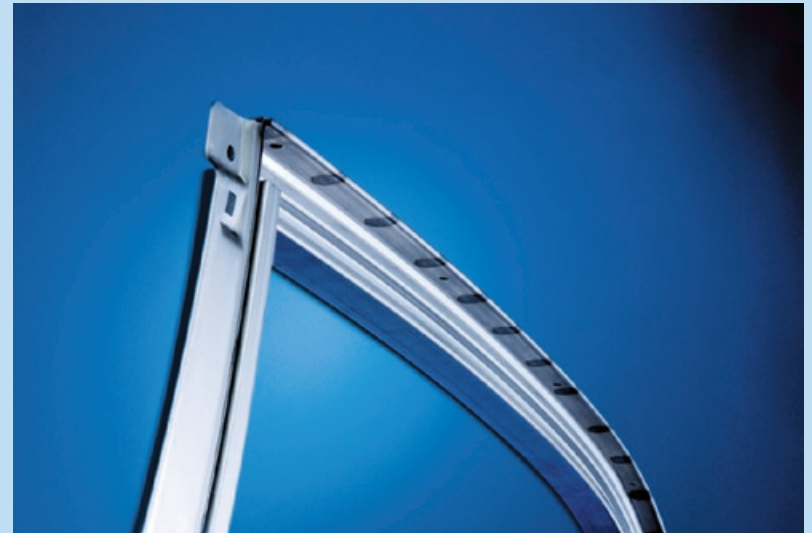


第 90 期  
中間報告書

平成18年4月1日から  
平成18年9月30日まで



シロキ工業株式会社



# Top Message

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社グループの第90期上半期（平成18年4月1日から平成18年9月30日まで）の営業を終了いたしましたので、その概要につきましてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、原油価格高騰など一部に懸念材料が見られましたが、企業収益の改善を背景に民間設備投資が増加し、また個人消費も堅調に推移するなど、国内民間需要を中心に回復基調を辿りました。一方、世界経済は中東情勢等に不安は残すものの、アジアでは中国を筆頭に高い成長率を示し、また米国も減速感はあるものの景気は拡大しており、総じて堅調に推移いたしました。

自動車業界におきましては、ガソリン価格高騰を背景に、経済性の高い軽自動車为好調に販売を伸ばし、過去最高の売上高を記録いたしました。しかしながら、競合する小型車が大きく販売を減らし、また軽自動車以外の新車投入が少なかったこともあり、国内新車販売は2年ぶりに前年同期比3.4%減となりました。一方、輸出は現地生産シフトが加速するアジア向けが減少したものの、低燃費で人気も高く、現地生産の追いつかない北米向けなどが好調に伸び、高水準を維持いたしました。この結果、国内生産は好調な輸出の伸びに支えられ堅調に推移いたしました。

こうした経営環境のなか、当社グループは、創立60周年の本年を更なる成長をはかるスタートの年として位置付け、高機能・高品質・低コストの「世界No.1の魅力ある製品づくり」はもとより、一層の経営効率化と企業体質強化に取り組んでまいりました。また、グローバルサプライヤーとして世界4極市場における生産・供給体制の確立も一段と加速してまいりました。

国内事業におきましては、九州シロキ株式会社（北九州市）が、得意先自動車メーカーの生産拡大に対応するため、来春の本格操業を目指し第2工場の生産準備を開始いたしました。また、シロキ商事株式会社（豊川市）が、本年7月会社分割を行い、請負業務を中心としたシロキクリエイティブサービス株式会社（豊川市）を新設するとともに、分割会社のシロキ商事株式会社は商社として専門性と機能を充実させ、それぞれの業務内容の特性を生かした運営を進めるなど、グループ経営の効率化をはかってまいりました。

海外事業におきましては、主力の北米では、好調な日系自動車メーカーの生産増と新規受注に対応するため、本年6月ジョージア工場の拡張に着手するとともに、北米第3の生産拠点としてSWM-GT,LLC（テネシー州）を新設するなど、北米生産体制の拡大と効率化に取り組んでまいりました。また、昨年より大型プロジェクトとして生産準備に取り組んでいた現地日産自動車株式会社の量販車種アルティマ向けドアサッシの生産を本年9月より始めるなど、新規拡販と北米事業強化にも努めてまいりました。中国では、広州白木汽車零部件有限公司（広州市）が、本年5月トヨタ自動車株式会社の広州現地生産開始に伴い、ドアサッシとモールディングの増産およびウインドレギュレータの新規生産を開始いたしました。また、今後の現地日系自動車メーカーの生産増と新規受注に対応するため敷地内に第2工場増設を決定するなど、生産体制の拡大と中国事業強化に注力してまいりました。タイでは、シロキタイランド株式会社（チョンブリ県）が、本年6月より、新たな主力製品としてドアサッシを現地企業への委託生産により現地日産自動車株式会社に納入を開始するなど、新規拡販とともに生産体制の強化に取り組んでまいりました。

こうした結果、当中間連結会計期間の業績につきましては、得意先自動車メーカーの国内外での生産台数増加に加え、モーターとECU（電子制御装置）を一体化した新型ウインドレギュレータなどの新規開発品の受注増加や、中国での生産体制が整備されたことによる生産増加などにより、売上高は637億1千7百万円（前年同期比9.2%増）となりました。利益につきましては、徹底した合理化活動による原価低減や、アジア地域での生産増加などが収益改善に寄与し、営業利益は11億4千9百万円（前年同期比66.2%増）となりました。また、経常利益は為替差益の減少と借入利息の増加により増益幅が縮小され、11億9千6百万円（前年同期比9.8%増）となりましたが、中間純利益は減損会計導入による影響と子会社整理損などがなくなったことにより7億5千4百万円（前年同期比313.3%増）となりました。

当期の中間配当につきましては、当上半期の業績および通期業績予想、並びに将来に向けたグローバル展開の充実と利益基盤構築に向けた投資などを総合的に勘案し、まことに遺憾ながら見送らせていただくことといたしました。株主の皆様には、格別のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後の見通しにつきましては、堅調な企業業績が家計部門にも波及し、引き続き国内民間需要に支えられた景気回復の基調は続くものと予想されます。しかしながら、不安定な世界情勢に加え、依然として原油価格の高止まりや米国景気の減速等の懸念材料もあり、予断を許さない状況が続くものと思われれます。

自動車業界におきましては、相次ぐ新型車投入と積極的な販売活動により、国内市場の活性化が期待されますが、ガソリン高や定率減税廃止などによる消費者心理の冷え込みから、国内市場は本格的回復には至らないものと予想されます。このような状況の下、自動車メーカーのグローバル化はより加速し、これに伴い自動車部品メーカーは、急速に進む自動車メーカーの海外現地生産拡大に対し、迅速で的確な対応と国際競争力の強化が一段と迫られる厳しい状況が続くものと思われれます。

当社グループといたしましては、更なる成長を目指し、引き続き国内では九州、海外では北米、アジアの各地区において生産体制の強化・整備に取り組み、「確かな品質」と「誇れる技術」でグローバルな生産・供給体制の確立をはかる一方、経営の効率化と企業体質強化をはかるべく、国内生産拠点のスリムでシャープな生産体制づくりに取り組み、グローバルサプライヤーとして総力を結集し、世界競争に勝ち抜いてまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年12月



取締役会長

木場 眞司



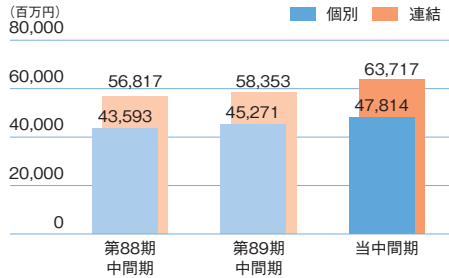
取締役社長

伊地 知舜一郎

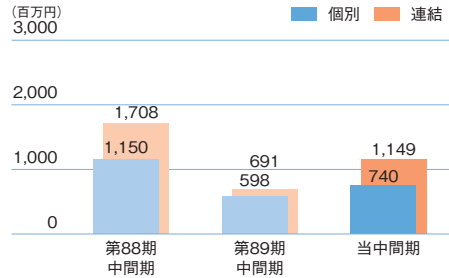


## 財務データ（中間期）

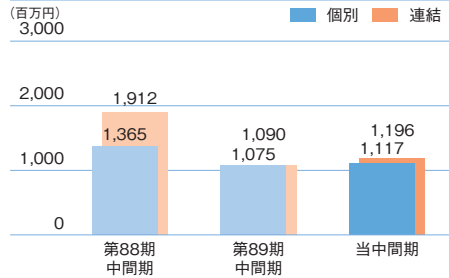
### 売上高の推移



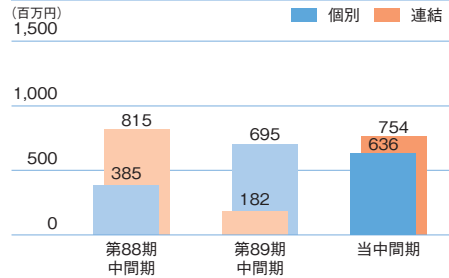
### 営業利益の推移



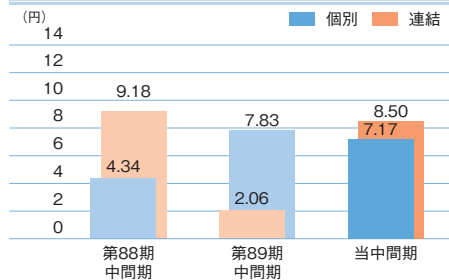
### 経常利益の推移



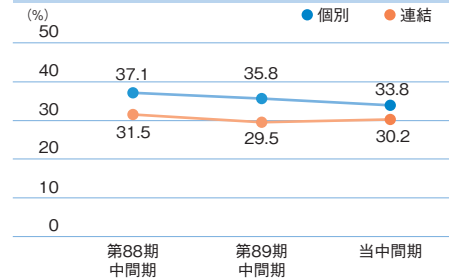
### 中間純利益の推移



### 1株当中間純利益の推移



### 自己資本比率の推移



## 製品紹介



ドアサッシ

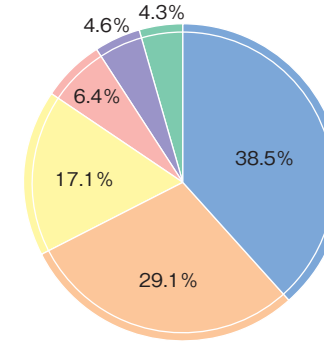


ロック&ヒンジ



モールディング

### 製品別売上高比率（連結）



シートクライナ・シートアジャスタ



ウインドレギュレータ

- シートクライナ・シートアジャスタ
- ウインドレギュレータ
- ドアサッシ
- ロック&ヒンジ
- モールディング
- その他

## TOPICS

### 北米第3の生産拠点 SWM-GT,LLC設立

#### 日系自動車メーカーの生産増に対応し、生産体制を強化

北米における好調な日系自動車メーカーの生産増に対応するため、本年6月「SWM-GT,LLC」（テネシー州ゴートンズビル市）を設立しました。新会社ではシート機能部品とドア機能部品を生産する予定で、07年1月の操業開始を目指します。

シロキの北米における事業は、SWマニュファクチャリング（テネシー州）でシート部品、SWMジョージア（ジョージア州）でドアサッシとウインドレギュレータなどを生産しており、SWM-GTの設立によって北米生産拠点は3拠点となりました。またシロキの海外生産拠点は、北米3拠点のほか、中国の広州白木汽車零部件、タイのシロキタイランドの5拠点となりました。



SWM-GT,LLCの本社・工場

(注) SWM-GT,LLCは平成19年1月1日付でSHIROKI-GT,LLCに社名を変更いたします。



# Consolidated Financial Statements

## 連結財務諸表

### 中間連結貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目	当中間期 (平成18年9月30日)	前 期 (平成18年3月31日)	科 目	当中間期 (平成18年9月30日)	前 期 (平成18年3月31日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	36,733	35,946	流動負債	34,976	49,647
現金及び預金	7,104	6,013	支払手形及び買掛金	20,198	22,030
受取手形及び売掛金	22,011	22,381	短期借入金	2,242	6,666
たな卸資産	4,013	3,890	一年以内返済予定長期借入金	5,128	14,181
前払費用	151	156	未払金	534	437
繰延税金資産	691	691	未払法人税等	473	543
未収入金	1,472	1,720	未払費用	2,273	2,059
その他	1,291	1,098	賞与引当金	1,230	1,209
貸倒引当金	△ 2	△ 6	役員賞与引当金	29	-
固定資産	45,882	46,902	設備関係支払手形	7	10
有形固定資産	37,272	37,888	設備未払金	1,845	1,771
建物及び構築物	7,067	7,286	その他	1,012	737
機械装置及び運搬具	19,434	20,171	固定負債	22,628	8,517
工具器具及び備品	5,274	4,965	長期借入金	14,935	623
土地	3,155	3,153	退職給付引当金	6,289	6,303
建設仮勘定	2,339	2,311	役員退職慰労引当金	173	195
無形固定資産	977	1,033	繰延税金負債	45	38
投資その他の資産	7,631	7,980	長期未払金	1,178	1,351
投資有価証券	1,484	1,518	その他	5	5
長期貸付金	377	510	負債合計	57,605	58,164
繰延税金資産	5,362	5,424	(少数株主持分)		
その他	643	743	少数株主持分	-	48
貸倒引当金	△ 237	△ 216	(資本の部)		
資産合計	82,616	82,849	資本金	-	7,460
			資本剰余金	-	9,699
			利益剰余金	-	7,255
			株式等評価差額金	-	390
			為替換算調整勘定	-	△ 116
			自己株式	-	△ 52
			資本合計	-	24,636
			負債・少数株主持分及び資本合計	-	82,849
			(純資産の部)		
			株主資本	24,851	-
			資本金	7,460	-
			資本剰余金	9,699	-
			利益剰余金	7,751	-
			自己株式	△ 59	-
			評価・換算差額等	117	-
			その他の有価証券評価差額金	372	-
			為替換算調整勘定	△ 255	-
			少数株主持分	42	-
			純資産合計	25,010	-
			負債・純資産合計	82,616	-

### 中間連結損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目	当中間期 (平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)	前 中 間 期 (平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)
売上高	63,717	58,353
売上原価	57,008	52,428
売上総利益	6,708	5,924
販売費及び一般管理費	5,559	5,233
営業利益	1,149	691
営業外収益		
受取利息・配当金	43	22
為替差益	64	340
設備売却益	138	83
ロイヤリティ	41	21
その他の収益	82	51
営業外費用		
支払利息	193	94
その他の費用	129	27
経常利益	1,196	1,090
特別利益		
前期損益修正益	38	-
工場立地助成金	6	3
その他の特別利益	33	10
特別損失		
固定資産売却損	74	3
固定資産除却損	68	77
減損損失	-	536
子会社整理損	-	160
たな卸資産減損	-	141
退職給付費用	-	12
その他の特別損失	29	33
税金等調整前中間純利益	1,101	138
法人税、住民税及び事業税	330	214
法人税等調整額	19	△ 201
少数株主利益(△は少数株主損失)	△ 2	△ 57
中間純利益	754	182

### 中間連結株主資本等変動計算書(要旨)

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで) (単位：百万円未満切り捨て)

	株主資本					評価・換算差額等 評価・換算差額等合計	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成18年3月31日残高	7,460	9,699	7,255	△ 52	24,361	274	48	24,684
中間連結会計期間中の変動額								
剰余金の配当			△ 221		△ 221			△ 221
役員賞与			△ 36		△ 36			△ 36
中間純利益			754		754			754
自己株式の取得				△ 6	△ 6			△ 6
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						△ 157	△ 5	△ 163
中間連結会計期間中の変動額合計	-	-	495	△ 6	489	△ 157	△ 5	326
平成18年9月30日残高	7,460	9,699	7,751	△ 59	24,851	117	42	25,010



# Non-Consolidated Financial Statements

## 個別財務諸表

### 中間貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

科目	当中間期 (平成18年9月30日)	前期 (平成18年3月31日)	科目	当中間期 (平成18年9月30日)	前期 (平成18年3月31日)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	29,436	29,530	流動負債	28,951	42,834
現金及び預金	3,704	3,416	支払手形	11	22
受取手形	774	1,011	買掛金	17,072	18,375
売掛金	17,398	17,451	短期借入金	1,000	5,004
製品	738	759	一年以内返済予定長期借入金	5,000	14,000
原材料	763	748	未払金	369	378
仕掛品	538	573	未払消費税	155	152
貯蔵品	10	3	未払法人税等	433	527
前払費用	71	83	未払費用	1,361	1,251
繰延税金資産	609	627	預り金	112	62
未収入金	2,895	2,966	賞与引当金	1,091	1,091
短期貸付金	1,873	1,868	役員賞与引当金	25	-
その他の流動資産	58	19	設備関係支払手形	7	10
固定資産	45,911	45,476	設備未払金	1,930	1,957
有形固定資産	27,080	27,247	その他の流動負債	378	0
建物	3,922	3,770	固定負債	20,927	7,063
構築物	595	597	長期借入金	14,000	-
機械及び装置	13,945	14,622	退職給付引当金	6,196	6,218
車両及び運搬具	7	8	役員退職慰労引当金	167	189
工具器具及び備品	4,508	4,743	その他の固定負債	562	655
土地	2,547	2,547	負債合計	49,878	49,898
建設仮勘定	1,552	956	<b>(資本の部)</b>		
無形固定資産	932	983	資本金	-	7,460
投資その他の資産	17,898	17,245	資本剰余金	-	9,699
投資有価証券	1,314	1,352	資本準備金	-	9,699
子会社株式	5,762	4,626	利益剰余金	-	7,698
子会社出資金	1,126	1,126	利益準備金	-	1,327
長期貸付金	6,640	7,033	任意積立金	-	5,111
長期前払費用	1	2	圧縮記帳積立金	-	55
繰延税金資産	4,905	4,878	別途積立金	-	5,055
その他の投資	465	501	中間(当期)未処分利益	-	1,259
投資損失引当金	△ 2,089	△ 2,089	株式等評価差額金	-	303
貸倒引当金	△ 227	△ 184	自己株式	-	△ 52
資産合計	75,348	75,007	資本合計	-	25,109
			負債・資本合計	-	75,007
			<b>(純資産の部)</b>		
			株主資本	25,188	-
			資本金	7,460	-
			資本剰余金	9,699	-
			資本準備金	9,699	-
			利益剰余金	8,087	-
			利益準備金	1,327	-
			その他利益剰余金	6,759	-
			圧縮記帳積立金	52	-
			別途積立金	5,055	-
			繰越利益剰余金	1,652	-
			自己株式	△ 58	-
			評価・換算差額等	281	-
			その他の有価証券評価差額金	281	-
			純資産合計	25,469	-
			負債・純資産合計	75,348	-

### 中間損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科目	当中間期 (平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)	前期中間期 (平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)
売上高	47,814	45,271
売上原価	42,395	40,212
売上総利益	5,419	5,058
販売費及び一般管理費	4,679	4,460
営業利益	740	598
営業外収益		
受取利息・配当金	179	106
為替差益	84	206
ロイヤリティ	217	168
その他の収益	107	80
営業外費用		
支払利息	122	66
その他の費用	89	18
経常利益	1,117	1,075
特別利益		
前期損益修正益	33	-
貸倒引当金戻入益	-	431
その他の特別利益	2	0
特別損失		
固定資産売却損	73	3
固定資産除却損	67	77
貸倒引当金繰入額	45	-
たな卸資産廃却損	22	19
減損損失	-	305
子会社整理損	-	240
たな卸資産評価損	-	141
その他の特別損失	2	1
税引前中間純利益	941	717
法人税、住民税及び事業税	299	186
法人税等調整額	5	△ 164
中間純利益	636	695
前期繰越利益	-	2,119
中間未処分利益	-	2,814

### 中間株主資本等変動計算書(要旨) (平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位：百万円未満切り捨て)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成18年3月31日残高	7,460	9,699	7,698	△ 52	24,805	303	25,109
中間会計期間中の変動額							
剰余金の配当			△ 221		△ 221		△ 221
役員賞与			△ 25		△ 25		△ 25
中間純利益			636		636		636
自己株式の取得				△ 5	△ 5		△ 5
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)						△ 22	△ 22
中間会計期間中の変動額合計	-	-	388	△ 5	382	△ 22	360
平成18年9月30日残高	7,460	9,699	8,087	△ 58	25,188	281	25,469



# Stock Information & Board of Directors



# Information

## 株式の状況（平成18年9月30日現在）

### ①株式の状況

発行済株式総数 89,003,624株  
株主数 6,980名

### ②大株主の状況（上位10名）

①東京急行電鉄株式会社 25,422千株 (28.56%)	⑥株式会社豊栄商会 2,130千株 (2.39%)
②トヨタ自動車株式会社 15,067千株 (16.93%)	⑦シロキ工業持株協会の 2,096千株 (2.36%)
③日本ラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) 3,944千株 (4.43%)	⑧日本生命保険相互会社 1,922千株 (2.16%)
④三菱UFJ信託銀行株式会社 3,559千株 (4.00%)	⑨ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー505041 1,651千株 (1.85%)
⑤日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) 3,142千株 (3.53%)	⑩シロキ工業従業員持株会 1,548千株 (1.74%)

(注) ( ) 内は持株比率を表示しております。

## 役員 の 状況（平成18年9月30日現在）

※取締役会長 木場 軍 司	取締役 大和田 晃
※取締役社長 伊地知 舜一郎	取締役 大橋 敦 志
※取締役副社長 西川 光 昭	取締役 大石 勝 美
専務取締役 橋 間 義 郎	取締役 上 條 清 文
常務取締役 佐 野 良 夫	取締役 落 合 和 雄
常務取締役 後 藤 和 行	常勤監査役 大 城 英 行
常務取締役 小 橋 賢 司	常勤監査役 古 川 俊 雄
常務取締役 佐 竹 史 郎	監 査 役 豊 田 章 男
	監 査 役 山 田 匡 通

(注) 1. ※印は代表権を有する取締役であります。  
2. 取締役のうち、上條清文及び落合和雄の両氏は、社外取締役であります。  
3. 監査役のうち、古川俊雄、豊田章男及び山田匡通の各氏は、社外監査役であります。

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
定時株主総会の基準日 3月31日  
期末配当金受領株主確定日 3月31日  
中間配当金受領株主確定日 9月30日  
公 告 方 法 電子公告の方法により行います。  
ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。  
公告アドレスは下記のとおりであります。

株主名簿管理人 アドレス：<http://www.shiroki.co.jp>  
〒100-8212  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
同 事 務 取 扱 場 所 〒171-8508  
東京都豊島区西池袋一丁目7番7号  
(お 問 い 合 せ) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
( 郵 便 物 送 付 先) フリーダイヤル：0120-707-696  
各種変更用紙のご請求は次のフリーダイヤルをご利用下さい。  
フリーダイヤル：0120-864-490  
同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
上 場 証 券 取 引 所 東京・名古屋（市場第1部）  
（証券コード：7243）

当社の企業情報はホームページでもご提供しております。



アドレス：<http://www.shiroki.co.jp>

〔主要なコンテンツ〕

- IR情報
- 会社案内
- 製品紹介
- ニュースリリース